



始業式

三学期は、一年間で一番短い学期ですが、卒業式や送別祭、センター試験や高校入試、また学年で最後の学期ということで一番思い出に残る学期になります。三学期ホームルーム役員の下、一年間の締めくくり、そして四月からの新たな年度にバトンタッチできるような充実した学期になることを期待します。

## 3学期が始まりました！

あつという間の冬休みが終わって、令和二年一月六日(月)、三学期始業式が行われ、令和元年度三学期がいよいよスタートしました。

式では、まず郷土芸能部による幕開けが行われ、地謡の演奏と、二年二組の上原愛姫さん(佐良浜中)、三年三組の地下麻祐梨さん(下地中)の見事な舞いで正月気分を盛り上げました。その後、音楽の玉城先生のピアノ伴奏で、全校生徒で元氣よく校歌斉唱を行い、式次第に入りました。

校長あいさつのおと、進路指導部主任の儀間先生より本校で行われている自学ノートとレビニュータイムが、これからの世の中で身につけなければならない必要な力―主体性やマネジメント能力にどうつながるかということを改めて丁寧にお話しがありました。次に、生徒指導部を代表して高江洲先生より、冬休みに事件・事故がなかったこと、そして三学期の基本的な生活習慣の心構えについてお話しがありました。

引き続き行われた三学期ホームルーム役員認証式では、校長による認証状授与のおと、各学年のホームルーム長を代表して、一年三組の平良勇人君(平良中)、二年一組の兼島海夏斗君(北中)、三年二組の荷川取愛深君(平良中)から素晴らしい抱負表明がありました。

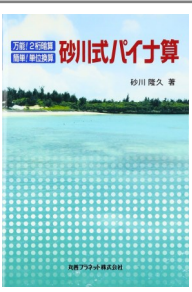
式では、まず郷土芸能部による幕開けが行われ、地謡の演奏と、二年二組の上原愛姫さん(佐良浜中)、三年三組の地下麻祐梨さん(下地中)の見事な舞いで正月気分を盛り上げました。その後、音楽の玉城先生のピアノ伴奏で、全校生徒で元氣よく校歌斉唱を行い、式次第に入りました。

あつという間の冬休みが終わって、令和二年一月六日(月)、三学期始業式が行われ、令和元年度三学期がいよいよスタートしました。

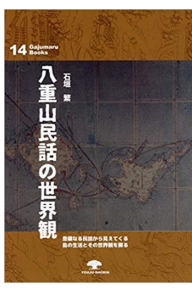


## 図書の寄贈がありました！

一冊目は本校同窓生の砂川隆久先生の『砂川式パイナ算』です。砂川先生は1939年平良市(現宮古島市)生まれ。平良第一小、平良中、宮古高校卒。1962年北海道大学工学部応用化学科、1964年同大工学部応用化学科修士課程を卒業後、エンジニアリングの専門家として国内外の仕事に長く携わりました。本書は2桁の掛け算の暗算と単位換算係数の暗記に関する長年の個人的な研究成果をまとめたものです。



二冊目は八重山の民俗学研究家の石垣繁先生の『八重山民話の世界観』です。石垣先生は1937年、石垣市宇白保に生まれ。八重山高校卒業。日本大学通信教育部文理学部文学専攻(国文)を卒業後、八重山地区の小・中・高校で教鞭をとる傍ら、郷土の民俗学の研究を行ってきました。本書は、民話を通して八重山の民俗社会を描いたものですが、第三章で「宮古の英雄・金志川金盛は、八重山に生きる」として、宮古の歴史と民話を取り上げています。



二冊とも図書館にありますので、ぜひ手に取って見て下さい！砂川隆久先生、石垣繁先生、貴重な著書のご寄贈ありがとうございました。

## 3年大学入試センター試験直前集会



来年度からは大学入学共通テストに制度が変わるということで、センター試験最後の受験生となる今年の三年生ですが、これまで頑張ってきた自分と支えてくれた周囲の方々に信じて、最後の一分、一問まであきらめず取り組むこと、粘り強く取り組み、希望進路を実現して欲しいと思います。

大学入試センター試験は、宮古地区では本校を会場に、一月十八日(土)・十九日(日)の両日に渡って実施され、宮古高校からは一〇四名が挑みます。頑張れ、受験生！

大会入試センター試験を翌週に控えた一月八日(水)、体育館で直前集会在開催されました。

集会では、いままで三年生を見守ってきた三学年主任の砂川先生の司会の下、校長と進路指導部主任の儀間先生から激励の言葉、そしてセンター試験担当の進路指導部の江田先生から、当日の試験に向けて具体的な注意事項があり、最後は全員でスクラムを組み、三年七組の土地紘乃進君(平良中)の「がんばろう」コールで、お互いに檄を飛ばしました。

